



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社

コード番号 4958 URL <https://www.t-hasegawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績 (2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	12,333	1.7	1,238	29.1	1,343	35.5	1,172	60.7
2019年9月期第1四半期	12,126	4.0	959	△5.0	991	△8.2	729	△2.1

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 2,203百万円 (ー%) 2019年9月期第1四半期 △2,261百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	28.29	28.20
2019年9月期第1四半期	17.40	17.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	113,140	91,816	81.0
2019年9月期	113,863	90,344	79.2

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 91,606百万円 2019年9月期 90,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	ー	17.00	ー	18.00	35.00
2020年9月期	ー				
2020年9月期 (予想)		18.00	ー	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,600	2.2	5,100	9.0	5,550	7.2	4,250	3.1	102.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	42,708,154株	2019年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	1,257,206株	2019年9月期	1,257,206株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	41,450,948株	2019年9月期1Q	41,941,354株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益等の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調にあったものの、通商問題の動向や中国経済の減速等が懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は12,333百万円（前年同期比1.7%増）と増収となりました。なお、当社単体の売上高は前年同期並み（前年同期比0.4%減）、海外連結子会社の売上高は、中国子会社が前年同期比9.1%の増収（現地通貨ベースでは同15.2%の増収）、米国子会社が前年同期比3.3%の増収（現地通貨ベースでは同7.2%の増収）、マレーシア子会社が前年同期比2.2%の減収（現地通貨ベースでは同1.3%の増収）となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、当社単体及び中国子会社の売上が増加したことを主因に前年同期比2.4%増加し、10,449百万円となりました。

フレグランス部門は、中国子会社の売上が増加したものの、当社単体の売上が減少したことを主因に前年同期比1.8%減少し、1,883百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は、売上増及び売上原価率の改善による売上総利益の増加、並びに販売費及び一般管理費の減少を主因に前年同期に比べ279百万円（29.1%）増加し、1,238百万円となりました。経常利益は前年同期に比べ351百万円（35.5%）増加し、1,343百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加、並びに固定資産売却益を特別利益に計上したことを主因に、前年同期に比べ442百万円（60.7%）増加し、1,172百万円となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高等を含めて表示しております。

（日本）

売上高は9,087百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益は884百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

（アジア）

売上高は2,055百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は246百万円（前年同期比378.6%増）となりました。

（米国）

売上高は1,440百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は99百万円（前年同期は42百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

前連結会計年度末に比べ、有価証券が1,000百万円増加した一方で、投資有価証券の売却にかかる未収入金を主とした流動資産その他が1,647百万円減少しました。これらを主因として、流動資産は前連結会計年度末に比べ808百万円減少し、55,811百万円となりました。

(固定資産)

前連結会計年度末に比べ、償却が進行した結果、有形固定資産が425百万円減少した一方で、株価の上昇に伴い投資有価証券が531百万円増加しました。これらを主因に、固定資産は前連結会計年度末に比べ84百万円増加し、57,328百万円となりました。

(流動負債)

前連結会計年度末に比べ、未払法人税等が1,206百万円、賞与引当金が872百万円減少したことを主因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,216百万円減少し、9,493百万円となりました。

(固定負債)

前連結会計年度末に比べ、繰延税金負債が215百万円、退職給付に係る負債が20百万円増加した一方で、長期未払金が222百万円減少したことを主因に、固定負債は前連結会計年度末に比べ20百万円増加し、11,829百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が426百万円、その他有価証券評価差額金が370百万円増加したことを主因として、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1,472百万円増加し、91,816百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,730	14,830
受取手形及び売掛金	15,792	16,305
有価証券	7,999	8,999
商品及び製品	7,236	7,531
仕掛品	107	38
原材料及び貯蔵品	7,320	7,327
その他	2,469	822
貸倒引当金	△35	△43
流動資産合計	56,620	55,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,127	16,019
その他(純額)	12,690	12,373
有形固定資産合計	28,817	28,392
無形固定資産		
のれん	716	703
その他	3,461	3,466
無形固定資産合計	4,177	4,170
投資その他の資産		
投資有価証券	22,680	23,211
退職給付に係る資産	18	18
その他	1,598	1,584
貸倒引当金	△48	△49
投資その他の資産合計	24,248	24,765
固定資産合計	57,243	57,328
資産合計	113,863	113,140
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,401	5,375
1年内返済予定の長期借入金	0	0
未払法人税等	1,648	441
賞与引当金	1,296	423
役員賞与引当金	61	—
その他	3,301	3,252
流動負債合計	11,709	9,493
固定負債		
繰延税金負債	3,787	4,002
退職給付に係る負債	6,998	7,018
資産除去債務	68	68
長期末払金	887	664
その他	68	75
固定負債合計	11,809	11,829
負債合計	23,519	21,323

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,297	7,297
利益剰余金	67,570	67,997
自己株式	△1,856	△1,856
株主資本合計	78,377	78,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,540	13,911
為替換算調整勘定	△1,459	△812
退職給付に係る調整累計額	△309	△296
その他の包括利益累計額合計	11,771	12,802
新株予約権	195	210
純資産合計	90,344	91,816
負債純資産合計	113,863	113,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	12,126	12,333
売上原価	7,567	7,585
売上総利益	4,558	4,747
販売費及び一般管理費	3,599	3,509
営業利益	959	1,238
営業外収益		
受取利息	21	25
受取配当金	29	32
為替差益	—	20
その他	18	33
営業外収益合計	69	111
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	33	—
その他	3	6
営業外費用合計	37	7
経常利益	991	1,343
特別利益		
固定資産売却益	—	320
特別利益合計	—	320
特別損失		
固定資産廃棄損	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	987	1,663
法人税等	257	490
四半期純利益	729	1,172
親会社株主に帰属する四半期純利益	729	1,172

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	729	1,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,443	370
為替換算調整勘定	△560	646
退職給付に係る調整額	12	12
その他の包括利益合計	△2,991	1,030
四半期包括利益	△2,261	2,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,261	2,203
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(顧客との契約から生じる収益(ASC第606号)の適用)

当第1四半期連結会計期間より、米国会計基準を適用する米国子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(IFRS16号「リース」の適用)

当第1四半期連結会計期間より、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国会計基準を適用する米国子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,891	1,886	1,348	12,126	—	12,126
セグメント間の内部売上高 又は振替高	235	60	33	329	△329	—
計	9,126	1,946	1,381	12,455	△329	12,126
セグメント利益又は損失(△)	925	51	△42	934	24	959

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額24百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額23百万円、たな卸資産の調整額1百万円、その他△0百万円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,906	2,034	1,392	12,333	—	12,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	180	21	47	250	△250	—
計	9,087	2,055	1,440	12,583	△250	12,333
セグメント利益	884	246	99	1,230	7	1,238

- (注) 1. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額11百万円、たな卸資産の調整額△2百万円、その他△0百万円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。